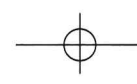


祝 辞





祝 辞



お祝いのことば

財団法人長崎県消防協会 会長
長崎県消防学校学友会顧問
長崎市消防団長

寺田 信雄

祝辞

長崎県消防学校の創立50周年を心からお祝い申し上げます。

昭和37年6月、長崎県護国神社に隣接する城山の丘に開校されて以来50年、消防教育の重責を果たされ、本県消防の発展に大きく寄与されましたことに対し、衷心より敬意を表し感謝申し上げます。

さて、近年の災害は、気候変動などにより複雑多様化するとともに、災害が大規模化しております。このような中であって、消防の果たす役割は益々重要となっており、住民の皆様の期待と信頼は大変大きなものとなっております。

私たち約2万人余の消防団員も、日頃から消防操法や応急救護の訓練を通じて、地域の安全と安心のためにたゆまぬ努力をつみ重ねているところであり、住民の生命、身体、財産を災害から守るという強い使命感のもと、日々任務の遂行にあたっております。

消防活動は、いうまでもなく組織活動であり団体活動です。

地域との強い絆を持ち、様々な職業人で構成される消防団は、団員それぞれがたゆまぬ努力を積み重ねることで、はじめて個々の力を組織の中で発揮できるものであります。

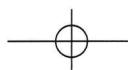
近年では消防設備が充実されつつありますが、いかに優れた消防設備を備えようと、それを扱う消防人の能力と魂がなければ立派な成果は期待できません。

消防人に求められる資質は、厳正な規律に則った旺盛な士気と緊急に対応できる体力そして技術力です。このためには、消防教育によりその能力と魂を磨き上げるのが必要であります。

本校においては、任務のための訓練や研修はもちろんのこと、社会人としての知識、教養を高める研修を行い、消防人の質の向上に大きく寄与されており、50年の永きに亘り多くの消防人を社会に送り出され、着実に教育訓練の成果を上げられました。

これから社会潮流は大きく変貌することが予想されますが、それぞれの時代における本校の軌跡をふりかえり、将来への糧として記念誌を発行されることは、誠に意義深いものがあると存じます。

長崎県消防学校に絶大な信頼を寄せつつ、今後の発展を期待し、関係者皆様方のご多幸を祈念して、お祝いのことばといたします。





祝 辞



お祝いのことば

長崎県消防長会 会長
長崎市消防局長

時津 哲郎

長崎県消防学校創立50周年を迎えるにあたり、心からお祝いを申し上げます。

長崎県消防学校は、昭和37年6月1日長崎市城山町（現在の城栄町）に開校し、その後、昭和58年に現在地である大村市への移転を経て、半世紀の長きにわたり、長崎県下の消防職員、消防団員及び自衛消防隊等の防火協力団体への、県内唯一の消防教育機関として、その重責を果たしてこられました。

この間に輩出された皆さんは、それぞれの地域において尊い人命や財産を守るという崇高な使命の完遂のため、懸命な活動をされております。

創設から現在に至るまで、長崎県消防学校の教育訓練にご尽力された講師の先生方をはじめ、歴代の学校関係各位に対しまして、心から深く敬意を表する次第であります。

近年は、自然災害などによる大規模災害が発生し、国内外を問わず相次いで大きな被害をもたらしています。なかでも、平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、国内観測史上最大のマグニチュード9.0の大地震に加え、これに伴う大津波と原子力発電所における爆発事故、石油コンビナート火災など想像を絶する未曾有の大災害となり、私たち消防防災に携わる者にとりましても、その被害の甚大さに、改めて自然災害の脅威を思い知らされることとなりました。そして今回の東日本大震災以来、多くの住民の安全・安心への関心が高まり、消防機関に寄せる期待もますます大きくなっております。

このような状況の中、いわゆる団塊の世代と呼ばれる経験豊富な多くの消防人が退職しており、続く若い消防人をいかに育成していくかが喫緊の課題であり、消防学校の役割はこれまでも増して大きなものとなっております。

今回、長崎県消防学校は、創立50周年の節目を迎えますが、伝統は受け継ぐ者が、そこに培われた精神や理念を、いかに我がものとしていくかによって、より意義あるものになっていくものと思われまます。長崎県消防学校の良き伝統が、若く優秀な消防人によってさらに受継がれて、次の時代においても消防学校が多くの優秀な消防人の育成の場となっていくことを祈念するものであります。

最後になりましたが、長崎県消防学校の今後ますますのご発展と、関係各位のご隆盛をお祈りいたしまして、50周年記念誌発刊のお祝いのことばといたします。





祝 辞



お祝いのことば

長崎県消防学校学友会
会長

半田 三知生

祝
辞

本県の消防職員、消防団員そして消防自衛隊等の学び舎である長崎県消防学校が、昭和37年に開校以来、創立50周年を迎えるにあたり、学友会を代表して心からお祝いを申し上げます。

私は、昨年から、長崎県消防学校学友会の5代目の会長という重責を担わせていただいておりますが、この記念すべき年に、記念誌発刊に関わることに大変感慨深く、光栄な思いであります。また、会長就任以来、初任科課程の入校式の希望に満ちた学生の眼差し、卒業式での充実感を感じさせる表情に触れ、いつも感動を覚え、学生たちの活躍と成長をいつも願っているところであります。

学友会は、開校の翌年、昭和38年秋に設立され、これまで、消防職員や消防団員等たくさんの入校生の方々のお世話をさせていただき、本県消防防災を支える多くの人材の輩出を支援し、県民の皆様の安全・安心の確保に寄与してきたものと思料いたしております。

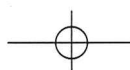
このことは、先ず、県当局、各消防(局)本部、各市町のご理解とご協力の賜物であり、さらには、入校生に対し、情熱と愛情を持ってご指導を続けてこられた、歴代の校長、教官・職員の方々の日々のご努力があつてこそだと、重ねて敬意と謝意を示すものであります。

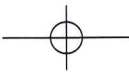
私ども消防に携わる者にとっての目標は、「安心で安全な地域社会」をつくり、維持していくことではありますが、そのためには、住民の皆様とともに、幅広い関係者の連携とそれぞれの献身的な日々の努力が不可欠です。そして、互いの絆を大切に、献身と愛情の気持ちに溢れ、知識と技能を兼ね備えた消防人が期待されております。

また、消防学校では、大量退職に伴う初任科学生的大幅な増加、特殊災害への対応や消防関係法令の適切な理解と指導等多くの課題が求められております。

学友会といたしましても、役員、評議員、会員の皆様と力を合わせ、教育訓練がより一層充実し、素晴らしい消防人の育成に貢献できるよう支援してまいりますので、関係各位のさらなるご理解をよろしくお願いする次第でございます。

結びに、長崎県消防学校におかれては、関係機関と連携を強め、安心・安全な地域をつくり、住民から信頼される消防人の育成を目指し、さらなるご健闘、ご発展をされましますよう、そして、関係者皆様のご健勝とご多幸を心から祈念し、お祝いのご挨拶といたします。





祝 辞



お祝いのことば

長崎県婦人防火クラブ
連絡協議会 会長

松本 スミ子

長崎県消防学校が創立50周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

昭和37年の開校以来、県下の消防団員、婦人（女性）防火クラブ員などの民間防火組織に対しまして、防火・防災に関わる多岐に渡る消防防災教育が行われ、長崎県の消防防災教育機関の中核として、50年の永きにわたり、ご指導ご尽力いただいていることに心より敬意を表し、厚くお礼を申し上げます。

現在、婦人（女性）防火クラブは、県内で669クラブ、77,137人を擁する組織に成長しており、消防学校での婦人防火クラブ員の研修も37回を数え、初期消火訓練や救急法など防火・防災に関わる様々な基礎知識を習得させていただいております。

日頃から、私たち婦人（女性）防火クラブ員は、火災の無い安全な社会の実現を目標に、家庭から、あるいは地域から、火災を出さない、「みずからの家庭はみずからの手で守る」をモットーとして、防火思想の普及活動や防火防災訓練、普通救命講習の実施など真摯に取り組んでいるところであります。

昨年3月11日に発生した東日本大震災では、多くの婦人（女性）防火クラブ員が、被災の中からいち早く立ち上がり、避難所での炊き出しや、水や食料の調達、物資の配布やトイレの管理など避難所運営に従事され、地域住民への様々な支援活動が行われました。

県内の婦人（女性）防火クラブにおきましても、万一の大災害に備え、日ごろからの訓練とたゆみない地域のネットワークづくりに、今後一層努め、消防学校で学んだ知識を、様々な地域活動や被災現場等での活動に活かしていくつもりです。

このような万一の火災や災害時の準備を行う一方、住宅火災予防の一環として「住宅用火災警報器」の設置促進に向け、各地域において積極的な活動を展開しており、高齢者宅や一人暮らし高齢者宅の戸別訪問では、火災時の奏功事例を紹介しながら、住宅用火災警報器の設置を熱心に呼びかけています。このような各地域の実情に応じた地道な普及活動の結果、既存住宅への設置が義務化された平成21年6月1日以降の調査では、その推計設置率は九州で第1位と全国的にも相対的に高く、平成24年6月現在83.5%となっています。しかしながら未だ設置率が100%に及んでいないことに鑑み、当連絡協議会では「住宅防火推進宣言」を発するとともに、「単身世帯への設置」や「高齢者宅や一人暮らし高齢者宅への設置促進と設置補助」などを重点的課題としてさらなる設置促進を図り、住宅防火対策に全力で取り組んでいく所存です。

引き続き、ご指導ご助言を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

結びに、長崎県消防学校の今後益々のご発展を心より祈念申し上げまして、お祝いのことばとさせていただきます。

